

見学会

2017年

3/17 (金)

8:45~17:45

東三河 「農業現場」見学会

主催：浜松商工会議所 浜松農商工連携研究会

浜松農商工連携研究会(浜松商工会議所)では、農業現場に関する知見を広げることを目的に見学会を開催します。

今回の視察では、青ねぎを主力に10万坪の圃場で栽培する「農業生産法人ドリームフィールド」、中間業者を通さず小売業者と声の届く関係を築く「株式会社マーコ」、栽培環境を自動制御し、高品質の胡蝶蘭を安定出荷する「株式会社リーフ」を訪問します。ぜひご参加ください。

タイムスケジュール

8:45 浜松商工会議所 出発 ※貸切バスにて移動

9:30~10:45 農業生産法人ドリームフィールド(豊橋市若松町)

明輝クリーナーが6年前に設立。露地野菜の栽培を通じて残さの再利用など循環型社会づくりと農業活性化への貢献を目指している。豊橋市南部の太平洋岸に約13万㎡の圃場を持ち、主力の青ねぎのほか、特産のキャベツ、ケチャップ用の加工トマトなどを栽培。土壌分析による環境に適した農業を推進している。

11:15~12:40 旬菜ダイニングMOGU(サンテバルクたはら)

農業をテーマにした体験型の公園「サンテバルクたはら」内にあるJA愛知みなみ直営のレストラン。JAで取り扱う農畜産物をはじめ産直ふれあい広場に出荷される旬の食材、田原管内で採れる特産品など、その時期にとれる旬の食材を生かした料理が楽しめる。公園内には農林体験実習館や新鮮な農畜産物の直売所なども。

13:00~14:30 株式会社マーコ(田原市保美町)

中間業者を通さず小売業者と声の届く関係を築き、質と規模で日本一の農業集団を目指している。農薬の使用を抑えて有機肥料などを活用し、菊や苺、トマトなどを栽培。農薬・肥料を使わず、自然農法と最先端技術を組み合わせた独自のMAK栽培方法にもトマトで挑戦している。電照菊栽培ではLEDをいち早く採用し、波長制御により高い品質と省エネを両立している。

15:30~17:00 株式会社リーフ(豊橋市細谷町)

光や温度、風などの栽培環境を自動制御し、高品質な胡蝶蘭の安定出荷を実現。全国トップの洋ラン産地である豊橋市の先導役ともなっている。最も優れた蘭に贈られる「農林水産大臣賞」を20代で受賞。小売店で30%がロスになる物流に疑問を感じ、小売店と生産者を結ぶプラットフォーム作りにも取り組む。

17:45 浜松商工会議所 到着

日時

平成29年3月17日(金)

8:45~17:45

参加費

浜松農商工連携研究会

会員:5,000円(交通費・昼食代、税込)

非会員:10,000円(交通費・昼食代、税込)

※当日ご持参ください。

※当日キャンセルは会費をご負担いただきます。

定員 20名

※浜松農商工連携研究会 会員優先

【申し込み・問い合わせ】

浜松商工会議所 工業振興課 TEL:053-452-1116 FAX:053-459-3535 E-mail:kogyo@hamamatsu-cci.or.jp

申し込み方法 ▶ FAXまたは郵送にてお申し込みください。

参加申込書

▶▶ FAX 459-3535

※番号をお確かめください。

事業所名			
所在地	〒	TEL	
		FAX	
参加者名	(役職) () (歳)	E-mail	
参加者名	(役職) () (歳)	E-mail	

※ご記入いただいた内容は、当事業の参加者把握に利用するほか、事務連絡や関連事業の情報提供のために使用することはありますが、第三者に公開するものではありません。